


分野	31	地域活動・市民活動	通番 51
施策	311	自治活動の促進	
<b>5年後の目標</b>		地域住民の間に日常的な対話が増えてつながりが生まれ、地域の課題に市民が主体的に向きあい行動している。	

概要								
P (概要)	実施計画名称(予算事業名称)		予算科目			決算額(円)	担当課	
	自治会活動支援事業		会計	款	項	目	17,139,592	自治振興室
			一般	2	1	8		
事業の概要								
自治会長会において、各自治会における現状や相互に共通する懸案事項について、情報交換や交流会を継続して実施します。さらに、自治会が組織としての機能を発揮するように、継続的な活動支援として、運営補助と事業補助を行い、住民自治活動を促進します。また、新たに未組織地域が発生しないよう関係機関に働きかけるとともに、自治会未組織地域の解消に向けた支援を行います。								


令和3年度の取組							
D (取組)	指標	自治会加入率				単位	%
	現 状 (計画策定時)	年度	3	4	5	6	7
	53.3(令和2年度)	目標	50.0以上	50.0以上	50.0以上	50.0以上	50.0以上
		実績	52.6				
<ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルス感染症拡大により、時期によっては、研修会などの自治会長会事業や各自治会での活動が実施できませんでしたが、感染防止対策を行いながら可能な範囲で事業を実施しました。</li> <li>11月には、各自治会で課題を共有するため、意見交換会を実施しました。</li> <li>1月には、「市長と語る対話のわ」を開催しました。新庁舎やワクチン接種、(仮称)自治振興条例など、自治会としても関心の高いテーマについて、各自治会よりご意見をいただきました。</li> <li>また「(仮称)自治振興条例」の策定にかかる検討委員会や自分ごと化会議などに自治会長会からも参画していただいています。</li> </ul>					意見交換会の様子		
							

施策の「5年後の目標」に対する評価				
令和3年度の達成状況				
C (評価)	評価指標	関連する評価指標	評価指標の傾向・トレンド	対応頁
	達成度合	自治会加入率	単身世帯の増加等で推計人口の世帯数は増加していますが、自治会加入率は減少しています。自治会員の高齢化や自治会活動への負担感による脱会者の増加により活動が縮小しつつあります。	183
	課題等	<ul style="list-style-type: none"> <li>A: 目標を達成又は上回って達成できた(目標の100%以上)</li> <li>達成状況</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>上記取組みに加え、各自治会が実施されている加入促進の取組みにより、新規自治会員は増加していますが、死亡や施設入所等の社会的減少及び自治会活動への負担感により脱会者が生じていることから、全体として加入率は減少となりました。</li> <li>特に高齢の方が、自治会活動や役に対する負担感により脱会されるケースが多くなっています。</li> <li>自治会員の高齢化と役員の後継者不足により組織が弱体化し、維持が難しくなっている自治会も出てきています。</li> </ul>	

次年度以降の対応	
A (行動)	方向性
	<ul style="list-style-type: none"> <li>2: 進め方の改善の検討が必要</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>対応策等</li> <li>市から自治会(地域)への依頼による負担をできるだけ軽減するため、市役所内部でアンケートやヒアリングを行っていきます。</li> <li>地域で課題を解決したり、いざという時に助け合うための基盤として、自治会の必要性を再認識してもらえよう広報等を通じて情報発信をしていきます。</li> </ul>

分野	31	地域活動・市民活動	通番 52
施策	311	自治活動の促進	
<b>5年後の目標</b>		地域住民の間に日常的な対話が増えてつながりが生まれ、地域の課題に市民が主体的に向きあい行動している。	

概要								
P (概要)	実施計画名称(予算事業名称)		予算科目			決算額(円)	担当課	
	地域コミュニティ活性化事業		会計	款	項	目	9,495,913	自治振興室
			一般	2	1	18		
事業の概要								
防災や高齢者の見守り等、地域に期待される互助・共助の意識向上を目指し、地域のコミュニティの活性化を進めます。地域コミュニティ協議会の役割を明確化し、全小学校区でのコミュニティ協議会など校区を単位とした住民連携組織の設立に向けた支援を行うとともに、地域における自主運営体制の確立に向けた支援を行います。また、地域における各種団体の存在意義や役割を明確化し、重複する事業の整理統合等を進め、地域活動団体の負担軽減や連携強化を推進します。								


令和3年度の取組							
D (取組)	指標	小学校区での住民連携組織の設立数				単位	校区
	現状 (計画策定時)	年度	3	4	5	6	7
		目標	8	9	10	10	10
		実績	8				
8(令和2年度)							
<ul style="list-style-type: none"> <li>地域住民の主体性を尊重しながら地域の課題や問題を解決する仕組みを模索するために、長法寺小・長三小・長四小・長五小・長七小・長八小・長九小・長十小校区において校区単位の地域コミュニティ活性化事業を実施しました。</li> <li>地域住民の自主性をより高めるため、長三小・長四小・長五小・長七小・長九小・長十小校区では地域コーディネーターを置かない住民主体の事務局運営を実施しました。長法寺小・長八小校区においては地域コーディネーターを配置し、事業や活動の調整役・行政とのパイプ役を担いました。</li> <li>長六小校区は校区コミュニティ協議会が未設置ですが、設立に向けて地域住民と話し合いを重ねました。</li> </ul>						地域コミュニティ協議会役員会	
							

施策の「5年後の目標」に対する評価			
令和3年度の達成状況			
C (評価)	評価指標	関連する評価指標	評価指標の傾向・トレンド
			—
C (評価)	達成度合	A: 目標を達成又は上回って達成できた(目標の100%以上)	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和3年度の設置済み校区は8校区です。</li> <li>長三小・長四小・長五小・長七小・長九小・長十小校区では地域コーディネーターを置かない住民主体の事務局運営をしています。住民自らが主体的に地域活動に関わり、地域力の向上につながりました。</li> <li>長六小校区では自治会長や関係団体らとの話し合いを経て、令和4年度に地域コミュニティ協議会設立準備委員会を立ち上げることとなりました。</li> </ul>
	課題等		<ul style="list-style-type: none"> <li>地域コミュニティ協議会未設置校区が2校区(神足小・長六小)あります。</li> <li>長法寺小・長八小校区についても住民主体の運営へと進める必要がありますが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のために令和3年度には各種事業はほとんど開催できず、事務引継ぎなどが進んでいません。</li> </ul>

次年度以降の対応	
A (行動)	方向性
	1: 計画通りに進めることが適当
	<ul style="list-style-type: none"> <li>長六小校区においては準備委員会から設立への支援を行います。</li> <li>神足小校区においては、関係団体や住民との話し合いを進めます。</li> <li>長法寺小・長八小校区において地域住民による主体的な事務局運営に進めるため、新型コロナウイルス感染症拡大による影響も鑑みながら地域コミュニティ協議会内での役割分担の見直しなどを行い、地域の自主性を高める支援をします。</li> </ul>

分野	31	地域活動・市民活動	通番 53
施策	312	市民活動の活発化と協働の促進	
<b>5年後の目標</b>		生活の充実につながる市民活動が活発化し、団体の活動や活動団体相互の協働がまちづくりの力になっている。	

概要								
P (概要)	実施計画名称(予算事業名称)		予算科目			決算額(円)	担当課	
	市民参画協働推進事業		会計	款	項	目	1,001,595	自治振興室
			一般	2	1	18		
事業の概要								
市民活動団体への財政的支援や活動拠点の提供、幅広い市民の参画の促進、情報発信や啓発などを実施します。 また、計画的に施策を進めるため、「長岡京市市民協働のまちづくり推進プラン」の進行管理を行います。								


令和3年度の取組							
D (取組)	指標	「長岡京市市民協働のまちづくり推進プラン」の施策達成率				単位	%
	現 状 (計画策定時)	年度	3	4	5	6	7
	70.8(令和元年度)	目標	72.0	74.0	76.0	78.0	80.0
		実績	75.4				
<ul style="list-style-type: none"> <li>市職員の協働意識の向上のため、入所1年目の職員を対象に研修を行いました。</li> <li>市民参画協働懇話会を2回実施、市民協働のまちづくり推進プランの進行管理や市民活動応援補助金制度について意見聴取しました。</li> <li>市民活動団体に市民活動応援補助金を交付し、財政的支援をしました。また、活動発表会を市民活動サポートセンターと3月に共催し、市ホームページで活動内容の紹介も行いました。</li> </ul>					新入職員市民参画協働研修 		

施策の「5年後の目標」に対する評価				
令和3年度の達成状況				
C (評価)	評価指標	関連する評価指標	評価指標の傾向・トレンド	対応員
			—	—
C (評価)	達成度合	A: 目標を達成又は上回って達成できた(目標の100%以上)	達成状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民活動応援補助金について、「市民提案型協働事業コース」は2件、「スタートアップコース」は4件採択し、採択された市民活動団体に対して、補助金(700千円)を交付し、財政的支援を行いました。</li> <li>緊急事態宣言の延長に伴い募集期間を1か月延長しました。昨年度に引き続き、スタートアップコースは秋募集も行いました。</li> <li>市民活動オフィスフロアは5団体6ブースの利用がありました。</li> <li>パブリックコメント制度を活用し6件の案件について市民からの意見を募りました。</li> </ul>
	課題等			<ul style="list-style-type: none"> <li>市民活動団体の財政的自立に寄与する市民活動応援補助金制度について制度が適正かどうか引き続き検討していく必要があります。</li> <li>市民活動団体において、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため各種事業を開催することが難しくなっています。</li> </ul>

次年度以降の対応		
A (行動)	方向性	対応策等
	1: 計画通りに進めることが適当	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民活動応援補助金制度について、実際の採択団体やそのほかの市民活動団体、懇話会委員の意見を取り入れ、より効果的な制度となるよう検討します。</li> <li>引き続き、市民協働のまちづくり推進プランに基づいた施策の研究・実施を図ります。</li> </ul>

分野	31	地域活動・市民活動	通番 54
施策	312	市民活動の活発化と協働の促進	
5年後の目標		生活の充実につながる市民活動が活発化し、団体の活動や活動団体相互の協働がまちづくりの力になっている。	

概要								
P (概要)	実施計画名称(予算事業名称)		予算科目			決算額(円)	担当課	
	市民活動サポートセンター事業		会計	款	項	目	8,596,539	自治振興室
			一般	2	1	14		
事業の概要								
市内のNPO法人などの市民活動団体の広がりや、ステップアップ、団体と地縁組織を含めた多様な主体との連携を促進するため、市民活動サポートセンターを中間的な支援機能を担う拠点として、指定管理者制度を活用し、民間のノウハウを持つ団体が、市民への紹介、団体同士及び団体と市民のネットワークづくりの支援、新規に活動をしたいと考える市民に対する相談及びアドバイスを行います。								


令和3年度の取組							
D (取組)	指標	市民活動・ネットワークづくりに関する延べ相談件数				単位	件
	現 状 (計画策定時)	年度	3	4	5	6	7
	63(令和元年度)	目標	70	80	90	100	110
		実績	83				
<p>・一般社団法人市民活動ネット・チーム長岡京を市民活動サポートセンターの指定管理者として、①団体同士や団体と市民のネットワークづくりの支援 ②センターや協働を市民に知ってもらうための各種事業 ③団体や活動をしたいと考える市民に対する相談及びアドバイス ④登録団体及びスタッフのスキルアップのための研修会などを実施しました。</p> <p>・「ひもじば」という横断的に各種団体や支援施設の情報が得られるコーナーを設置。団体運営者以外にも市民活動に興味のある人が気軽に立ち寄れる場を創出。</p> <p>・ホームページ、フェイスブック、広報誌「サポセン通信」等により、市民活動サポートセンターを周知しました。センターの公式LINEアカウントも開設し、より簡単に情報を共有する仕組みを整えました。</p>					協働勉強会		
							

施策の「5年後の目標」に対する評価					
令和3年度の達成状況					
C (評価)	評価指標	関連する評価指標		評価指標の傾向・トレンド	対応員
	達成度合	市民活動サポートセンター登録団体数	・コロナ禍ではありますが、相談窓口としてのPRを行い、登録団体は大幅には減少していません。		183
		A:目標を達成又は上回って達成できた(目標の100%以上)	達成状況	<p>・登録団体数(施設利用ができる団体数)は令和2年度の179件から165件に減少しました。</p> <p>・コロナ禍の中、ネットワークに関する総相談件数は延べ83件と目標値を超える相談件数がありました。職員の研修や広報等のPRにより、徐々に活動に関する具体的な相談や事業に参加したい、ボランティアをしたいという個人からの相談も増えてきています。</p>	
課題等	・市民活動団体への支援や協働の推進のためにも、より幅広く市民活動サポートセンターと地縁団体や企業との関わりを広げる必要があります。				

次年度以降の対応	
A (行動)	方向性
1:計画通りに進めることが適当	<p>対応策等</p> <p>・引き続き市民活動サポートセンターの利用方法や相談方法をホームページや市広報紙、登録団体へのメールマガジンなどで周知活動を行います。</p> <p>・活動に対して的確に助言を行える中間支援組織となるよう、スタッフのスキルアップに努めます。</p>

分野	31	地域活動・市民活動	通番 55
施策	312	市民活動の活発化と協働の促進	
<b>5年後の目標</b>		生活の充実につながる市民活動が活発化し、団体の活動や活動団体相互の協働がまちづくりの力になっている。	

概要								
P (概要)	実施計画名称(予算事業名称)		予算科目			決算額(円)	担当課	
	<b>多世代交流ふれあいセンター事業</b>		会計	款	項	目	18,495,783	多世代交流 ふれあいセンター
			一般	2	1	19		
事業の概要								
地域活動・市民活動を支える拠点の一つとして、また世代を超えた市民の幅広い交流を促進し、市民活動、男女共同参画、地域福祉、健康づくり及び生涯学習に寄与する場の提供、充実を図ります。								


令和3年度の実績							
D (取組)	指標	多世代交流ふれあいセンター利用者数				単位	人
	現状 (計画策定時)	年度	3	4	5	6	7
	33,355 (令和元年度)	目標	34,500	35,500	36,500	37,500	38,500
		実績	26,035				
<ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルス感染症予防対策のため、利用者へアルコール等消毒用品の提供を行い、感染症予防に努めました。</li> <li>利便性の向上を図るため、屋上防水改修工事、防犯カメラの取替、給排水設備改修調査委託を行いました。</li> </ul>					交流室での活動の様子 		

施策の「5年後の目標」に対する評価				
令和3年度の達成状況				
C (評価)	関連する評価指標		評価指標の傾向・トレンド	対応頁
	主な社会教育施設の利用者数		・新型コロナウイルス感染症対策のための休館や利用制限、イベントの自粛要請等により、コロナ前と比較すると年間の利用者数は少ないものの、比較的感染状況が落ち着いている月の利用者数は、コロナ禍前の水準に戻りつつあります。	185
	達成度合	C:目標の一部を達成できなかった	・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、貸館業務の閉鎖(令和3年4月25日～5月31日、8月20日～9月12日)や時間短縮(令和3年6月1日～9月30日)、納付済み利用料の還付(令和4年1月15日～3月31日分)を行ったため、全体の利用者数は目標数値より減少しています。しかし、「生涯学習フロア」における利用者数は21,448人(前年度21,249人)で、同程度の閉鎖期間のあった前年度と比較して微増しています。	
課題等 ・参加者数の多い活動のある日は、駐車場が混雑することがあります。また、車上荒らしが2件発生し、適切な施設維持管理をとる必要があります。併せて、施設のバリアフリー化や、令和4年度に医師会が移転した後のフロア活用方法を検討する必要があります。				

次年度以降の対応	
A (行動)	対応策等
1:計画通りに進めることが適当	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設内のバリアフリー化を検討します。</li> <li>給排水設備、学習室1・2等の改修を実施し、利用者の利便性の向上を図ります。</li> <li>駐車場は、防犯カメラを増やす等の防犯対策を検討します。また、西山体育館の駐車場と調整し、利用者に負担をかけないように調整します。</li> <li>医師会が移転した後のフロアの活用方法を検討します。</li> </ul>

分野	32	人権	通番 56
施策	321	人権・平和を尊ぶまちづくり	
5年後の目標		一人ひとりが確かな人権意識と平和を尊ぶ心を持ち、差別と人権侵害に対して、考え行動する力を有している。	

概要							
P (概要)	実施計画名称(予算事業名称)		予算科目		決算額(円)	担当課	
	人権啓発推進事業		会計	款	項	目	共生社会 推進課
			一般	2	1	16	
			10	1	3	604,914	
事業の概要							
全ての市民の人権が尊重され、個性と能力を発揮することができる社会を目指し、市内人権団体などと、さまざまな人権啓発事業を実施します。							


令和3年度の取組							
D (取組)	指標	人権啓発事業への参加者数				単位	人
	現 状 (計画策定時)	年度	3	4	5	6	7
	6,152 (令和元年度)	目標	5,700	5,950	6,200	6,200	6,200
		実績	4,916				
<p>・12月4日(土)に「人権・男女共同参画フォーラム」と「障がい者児の人権を考える市民のひろば」を合同で開催し、関係団体の発表、パネル展示、フリーアナウンサー笠井信輔さんの講演会などを行いました。</p> <p>・全ての市民の人権が尊重され、個性と能力を発揮することができる社会を目指して、人権啓発作品(標語・ポスター・写真)を募集し、3,986人から延べ4,962件の応募がありました。</p> <p>・市民団体である人権啓発推進協議会と連携し、様々な人権に関するテーマの講座を4回開催しました。</p> <p>・暴力根絶と児童虐待防止を目的とした「パープル&amp;オレンジリボンプロジェクト」をはじめ、男女共同参画講座の開催など、ニーズに即した多角的な事業を行いました。</p>					<p>「人権・男女共同参画フォーラム」</p> 		

施策の「5年後の目標」に対する評価				
令和3年度の達成状況				
C (評価)	評価指標	関連する評価指標	評価指標の傾向・トレンド	対応頁
			—	—
C (評価)	達成度合	B: 目標をほぼ達成できた(目標の80%~100%程度)	達成状況	<p>・新型コロナウイルス感染拡大の影響で講座の中止や人数制限を余儀なくされたため、参加者数は4,916人となりました。</p> <p>・オンラインでの講座の開催や、動画を用いた市民関係団体の発表など、コロナ禍において工夫を凝らした開催を行いました。</p> <p>・参加者からのアンケートによると、各種講座やイベント等において8割以上の方が「理解が深まった」「良かった」と回答いただきました。</p>
	課題等	<p>・未だ、同和問題や、女性、子ども、高齢者、障がいのある人、外国人等の様々な人権問題が存在しています。</p> <p>・近年は、ヘイトスピーチのほか、SNSなどのインターネット、LGBT等、新型コロナなどに関連した人権侵害など、新たな人権問題も発生しています。</p>		

次年度以降の対応		
A (行動)	方向性	対応策等
	1: 計画通りに進めることが適当	<p>・複雑、多様化する人権問題について、一人ひとりが自分の問題として認識してもらえよう、テーマや開催方法などを工夫して、啓発に取り組めます。</p> <p>・市民団体や学校、関係機関と協力、連携しながら、人権啓発事業を実施します。</p>

分野	32	人権	通番 57
施策	321	人権・平和を尊ぶまちづくり	
<b>5年後の目標</b>		一人ひとりが確かな人権意識と平和を尊ぶ心を持ち、差別と人権侵害に対して、考え行動する力を有している。	

概要								
P (概要)	実施計画名称(予算事業名称)		予算科目			決算額(円)	担当課	
	北開田会館地域交流事業		会計	款	項	目	1,502,485	北開田会館
			一般	3	1	6		
事業の概要								
地域の拠点施設である北開田会館を活用した地域活動等や貸館業務を通じて地域住民と周辺地域住民との交流を深め、同和問題(部落差別)をはじめあらゆる人権課題の解決に向けた各種事業を推進します。								


令和3年度 of 取組							
D (取組)	指標	北開田会館における人権啓発事業の利用人数				単位	人
	現状 (計画策定時)	年度	3	4	5	6	7
	4,532 (令和元年度)	目標	4,600	6,000	6,100	6,150	6,200
		実績	1,187				
<ul style="list-style-type: none"> <li>習字教室(39回)、手話教室(25回)、料理教室(1回)、ウォーキング教室(5回)、ヨガ教室(15回)、陶芸教室(7回)、ゲートボール教室(1回)、クロリティ教室(1回)、囲碁将棋教室(67回)を実施しました。新型コロナウイルス感染症感染拡大に伴う緊急事態宣言により手づくり教室、京文化教室は中止になりました。</li> <li>高齢者の健康維持を目的としたデイサービス事業を7回(健康体操5回、消費生活トラブル予防教室1回、寄せ植え1回)しました。</li> <li>人権教育指導員による各種人権研修を開催しました。</li> </ul>					寄せ植え教室		
							

施策の「5年後の目標」に対する評価					
令和3年度の達成状況					
C (評価)	評価指標	関連する評価指標	評価指標の傾向・トレンド	対応頁	
		—	—	—	—
	達成度合	C: 目標の一部を達成できなかった	達成状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルスの緊急事態宣言により文化教養教室等の開催の一部を中止にしたため、全体の利用者が前年度(1,915人)と比べて減少しました。</li> <li>人権教育指導員による各種人権研修については前年(13回)から大幅に増え22回でした。コロナ禍において新たな人権課題が取り沙汰されている状況の中で同和問題(部落差別)をはじめ、あらゆる人権課題の解決に向けた事業を推進しました。</li> </ul>	
課題等	<ul style="list-style-type: none"> <li>文化教養教室のそれぞれの教室参加者の傾向として、高齢化、固定化がみられるため新たな参加者を増やす手段への検討・実施が課題です。</li> <li>文化教養教室の開催および北開田会館の施設利用は、社会情勢や感染状況を踏まえ、迅速かつ柔軟な対応ができる体制で進める必要があります。</li> </ul>				

次年度以降の対応		
A (行動)	方向性	対応策等
	1: 計画通りに進めることが適当	<ul style="list-style-type: none"> <li>文化教養事業について、広いニーズ調査に基づいた改善を積極的に行い、新たな参加者を発掘する働きかけを行います。</li> <li>文化教養事業についてニーズに基づいた新たな教室を開設することにより参加者を増やしていきます。</li> <li>人権課題の解決に向けた各種事業を引き続き推進していきます。</li> </ul>

分野	32	人権	通番 58
施策	321	人権・平和を尊ぶまちづくり	
<b>5年後の目標</b>		一人ひとりが確かな人権意識と平和を尊ぶ心を持ち、差別と人権侵害に対して、考え行動する力を有している。	

概要							
P (概要)	実施計画名称(予算事業名称)		予算科目		決算額(円)	担当課	
	平和施策推進事業		会計	款	項	198,877	共生社会 推進課
			一般	2	1		
事業の概要							
戦後80年近くが経過し、戦争体験が風化しつつある中で、戦争の悲惨さ、平和の大切さ、いのちの尊さを次世代に引き継いでいくため、行政として中立的な立場から「平和を考える市民フォーラム」等の開催や、インターネットを利用して戦争・平和に関する資料を掲載する「バーチャル平和祈念館」を活用し啓発活動の充実に取り組みます。とくに学校教育現場での活用を推進し、若年層への平和意識の積極的な醸成に取り組みます。							

令和3年度の取組							
D (取組)	指標	長岡京市バーチャル平和祈念館のアクセス数				単位	件
	現 状 (計画策定時)	年度	3	4	5	6	7
	13,894 (令和元年度)	目標	15,000	15,800	16,600	17,500	18,500
		実績	18,950				
<ul style="list-style-type: none"> <li>平和祈念碑、戦没者追悼の碑への献花式を実施しました。</li> <li>平和を考える市民フォーラムは中止し、代替事業として平和に関する動画配信と展示を実施しました。</li> <li>動画配信では、児童文学作家のあまきみこさんによる平和に関する対談及び戦争をテーマとした著書の朗読の動画を「バーチャル平和祈念館」にて配信しました。</li> <li>展示では、市内空襲に関する実物展示や、広島・長崎原爆写真パネルの展示など、例年のフォーラムにおける展示内容をより充実させて実施しました。</li> </ul>					平和祈念碑への献花式 		


施策の「5年後の目標」に対する評価					
令和3年度の達成状況					
C (評価)	評価指標	関連する評価指標	評価指標の傾向・トレンド	対応頁	
		—	—	—	—
	達成度合	A: 目標を達成又は上回って達成できた(目標の100%以上)	達成状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>コロナ禍に対応する事業として動画配信を行い、事業の周知に市公式LINEなどデジタルの媒体を活用することにより、バーチャル平和祈念館への誘導を効果的に行うことができました。結果的に目標値を大きく上回る実績数値を達成することができました。</li> <li>絵本の朗読を題材とした動画を配信することによって、子育て世代やその子どもなど、若い世代に対して発信することができました。</li> </ul>	
課題等	<ul style="list-style-type: none"> <li>平和啓発に関するイベントについて、若い世代にも関心をもってもらえるよう、また、コロナ禍であっても平和を考える機会を提供できるよう、企画を工夫して実施することが必要です。</li> <li>バーチャル平和祈念館を、より多くの方(特に若年層)に利活用してもらえるような工夫が必要です。</li> </ul>				

次年度以降の対応	
方向性	対応策等
A (行動)	1: 計画通りに進めることが適当 <ul style="list-style-type: none"> <li>令和4年度は市制施行50周年の関連事業として平和フォーラムの開催を予定します。これまでの取り組みを継承しながら、若年層が参加できる内容の講演会を企画します。</li> <li>7月にバーチャル平和祈念館をリニューアルし、子どもたちが興味をもって平和・戦争について学べるコンテンツを追加します。</li> <li>小学生を対象に平和学習を実施し、バーチャル平和祈念館に学習成果を掲載します。</li> </ul>



分野	32	人権	通番 59
施策	322	多様性を認め合う共生社会の実現	
5年後の目標		すべての人が、自分の望む人生を自分で選び取る機会を保障され、個性と能力を十分に発揮して生活している。	

概要								
P (概要)	実施計画名称(予算事業名称)		予算科目			決算額(円)	担当課	
	男女共同参画社会の実現事業		会計	款	項	目	4,837,761	男女共同参画センター
			一般	2	1	17		
事業の概要								
男女共同参画社会の形成には、あらゆる世代の市民が、固定的性別役割分担意識や男女の不平等感を払拭し、男女共同参画の視点と意識を持つことが必要です。そのため、多様な選択を可能とする学習機会の確保や、各種啓発事業の充実を図るとともに、女性活躍を推進する環境作りを進めます。また、誰もが様々な問題や悩みを安心して相談できる体制を整備するとともに、関係機関との連携のもと、ドメスティックバイオレンスや児童虐待への対応を強化し、DV被害者等へのワンストップ支援体制の充実を図ります。								

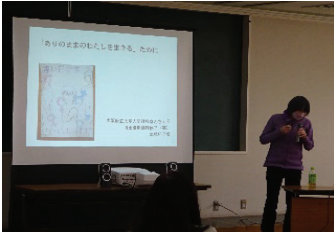
令和3年度の取組							
D (取組)	指標	審議会等の市民公募委員への女性委員参画比率				単位	%
	現状 (計画策定時)	年度	3	4	5	6	7
	45.3(令和元年度)	目標	46.0	46.0	48.0	48.0	50.0
		実績	52.8				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・審議会等の市民公募委員については、長岡京市審議会等への女性委員の登用推進要綱に基づき、事前協議書の確認を行い女性の参画拡大につなげました。</li> <li>・人権・男女共同参画フォーラム等、男女共同参画に関する事業を15講座実施しました。また、暴力根絶と児童虐待防止を目的とした「パープル&amp;オレンジリボンプロジェクト」や、市内中学校、高等学校へのDV防止、性の多様性に関する出前授業を実施し、ニーズに即した多角的な事業展開を図りました。</li> <li>・「面接相談」「電話相談」「DV電話相談」「女性のカウンセリングルーム」「女性の法律相談」「男性電話相談」を運営し、DV等様々な相談に応じるとともに、必要性に応じて長岡京市DV対策ネットワークにおける関係機関と連携し支援を行いました。</li> </ul>							
「人権・男女共同参画フォーラム」							

施策の「5年後の目標」に対する評価 令和3年度の達成状況				
C (評価)	評価指標	関連する評価指標	評価指標の傾向・トレンド	対応頁
		達成度合	達成状況	
課題等		<p>・審議会等の市民公募委員への登用については、目標値を達成していますが、審議会等における女性委員比率全体については38.0%と伸び悩んでおり、全体として女性の参画を進めていくことが必要です。</p>		

次年度以降の対応	
A (行動)	対応策等
1:計画通りに進めることが適当	<p>・引き続き、幅広い分野への女性の参画拡大に向け、担当課へ働きかけを行います。また、全体の女性参画比率を上げるために、選出母体である地域団体等に対し、自治会や地域コミュニティ協議会等を通じ、地域へ男女共同参画啓発を行います。</p>

分野	32	人権	通番 60
施策	322	多様性を認め合う共生社会の実現	
5年後の目標	すべての人が、自分の望む人生を自分で選び取る機会を保障され、個性と能力を十分に発揮して生活している。		

概要								
P (概要)	実施計画名称(予算事業名称)		予算科目			決算額(円)	担当課	
	性の多様性理解促進事業		会計	款	項	目	141,762	共生社会 推進課
			一般	2	1	16		
事業の概要								
LGBTなど、新たな人権課題である「性の多様性」への理解を進めるため、市民・学校・事業所等への啓発の充実を図るとともに、市としての発信に取り組みます。								


令和3年度の取組							
D (取組)	指標	性の多様性理解促進に関する取り組み				単位	—
	現 状 (計画策定時)	年度	3	4	5	6	7
	—	目 標	パートナーシップ制度の実施	LGBTリーディングカンパニー制度の検討	LGBTリーディングカンパニー制度の実施	制度の運用	制度の運用
		実 績	パートナーシップ制度の実施				
<ul style="list-style-type: none"> <li>性的指向及び性自認に関わらず一人ひとりの人権が尊重され、多様な生き方や価値観を認め合い、誰もが自分らしく生きられる社会の実現を目指し、6月1日から「パートナーシップ宣誓制度」を開始しました。</li> <li>8月1日に京都市及び亀岡市と都市間連携協定を結び、転居時の事務的負担の軽減を図るとともに、3市で連携した取組みや情報共有を進めました。</li> <li>性の多様性に関する講座を2回開催し、市民を対象に性の多様性の理解促進を図りました。</li> </ul>					性の多様性を考える講座(3月10日) 		

施策の「5年後の目標」に対する評価				
令和3年度の達成状況				
C (評価)	評価指標	関連する評価指標	評価指標の傾向・トレンド	対応頁
		LGBT(性的少数者)という言葉の認知度	近年、性の多様性への理解は広がりつつあり、LGBT(性的少数者)という言葉の認知度も8割以上と高くなっています。	
達成度合	B:目標をほぼ達成できた(目標の80%~100%程度)	達成状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>6月のプライド月間に合わせて「パートナーシップ宣誓制度」を開始し、3組6名の方に宣誓受領書を交付しました。</li> <li>制度開始に合わせて、広報紙、FMおとくみや図書館などを活用して、市民や事業者に対し、効果的に制度を周知、啓発することができました。</li> <li>性の多様性に関する講座に55名の方に参加いただき、9割以上の方に「性の多様性への意識が深まった」と回答いただきました。</li> </ul>	
	課題等	<ul style="list-style-type: none"> <li>6月にパートナーシップ宣誓制度を開始しましたが、制度に関連したサービスの提供をしている事業所等に対し、十分な啓発等を行えていないため、今後、効果的に啓発を行い、連携を図ることが必要です。</li> <li>パートナーシップ宣誓制度を契機とした取組(行政サービス等)の推進を図ることが必要です。</li> <li>当事者団体とのつながりが無く、当事者のニーズを把握する機会が少ないことが課題です。</li> </ul>		

次年度以降の対応		
A (行動)	方向性	対応策等
1:計画通りに進めることが適当		<ul style="list-style-type: none"> <li>市内事業所や病院などに対して、性の多様性の取組みに関するアンケート調査及び啓発を行い、リーディングカンパニー制度導入の検討を行います。</li> <li>京都市及び亀岡市と共催で、コミュニティスペース「まあぶるスペース」を定期的開催し、当事者やその支援者の交流の場や機会の提供、ニーズの把握を行います。</li> </ul>

分野	32	人権	通番 61
施策	322	多様性を認め合う共生社会の実現	
<b>5年後の目標</b>		すべての人が、自分の望む人生を自分で選び取る機会を保障され、個性と能力を十分に発揮して生活している。	

概要							
P (概要)	実施計画名称(予算事業名称)		予算科目		決算額(円)	担当課	
	<b>障がい理解・合理的配慮提供 促進事業</b>		会計	款	項	87,756	障がい福祉課
			一般	3	1		
事業の概要							
障がい者差別の解消や理解促進を図るため、障がい特性の理解と合理的配慮の事例を学ぶ機会の創出や、主体的に行動できるサポーターづくりに取り組みます。							


令和3年度の取組							
D (取組)	指標	障がい特性理解のための研修を受け、「あいサポーター」となった市民・事業者の数				単位	人
	現 状 (計画策定時)	年度	3	4	5	6	7
	719(令和元年度)	目標	880	1,030	1,230	1,430	1,630
		実績	1,236				
<p>・障がいのある方に対しての手助けや配慮等を実践するあいサポーターの養成を通じて、誰もが暮らしやすい社会を目指すあいサポート運動を推進するため、「あいサポーター養成研修」を行いました。オンライン研修について、市ホームページで周知しました。</p> <p>・あいサポーター研修を受講し、あいサポート運動の普及等に積極的に取り組む企業、団体等に対して「あいサポート企業等」の認定を行いました。</p> <p>・ホームページや広報紙に合理的配慮の取組みやあいサポート運動の概要、ほっとはあと製品(障がい福祉事業所の製品)の紹介等を掲載し、啓発を行いました。</p>						あいサポート研修	
							

施策の「5年後の目標」に対する評価 令和3年度の達成状況				
C (評価)	評価指標	関連する評価指標	評価指標の傾向・トレンド	対応頁
	評価指標	障がい者(児)に対するアンケートで、 ①「障がい者にとって住みやすい家が準備されていること」が選択された割合 ②「必要な福祉サービスが適切に利用できること」が選択された割合		
達成度合	A: 目標を達成又は上回って達成できた(目標の100%以上)	達成状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>市職員、団体、企業、学校、市民を対象に計11回のあいサポーター養成研修を実施し、318人のあいサポーターを養成しました。市職員に対する研修は感染症拡大の状況を鑑み、DVD視聴及び書面での研修としました。</li> <li>1企業、1団体を「あいサポート企業等」に認定しました。</li> </ul>	
課題等	<ul style="list-style-type: none"> <li>障がいを理由とする不当な差別的取扱いの解消や合理的配慮の提供を促進するため、市や障がい者相談員が受けた相談事例について、あいサポーター研修に反映していく必要があります。</li> <li>誰もが暮らしやすい長岡京市を実現するために、障がいのある方に対し配慮できるあいサポーターのさらなる養成が必要です。</li> </ul>			

次年度以降の対応		
A (行動)	方向性	対応策等
A (行動)	1: 計画通りに進めることが適当	<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き、市民・事業者・団体等へ積極的に周知啓発を行い、障がい理解の向上に努めます。</li> <li>あいサポーター養成の拡大に向けて、あいサポーター研修の情報発信に取り組み、研修参加者を増やすとともに、参加者のニーズに合わせた研修内容を企画します。</li> <li>民間事業者の障がい理解啓発を促進し、あいサポート企業等の認定を増やします。</li> </ul>

分野	33	生涯学習・文化・スポーツ	通番 62
施策	331	生涯学習環境の充実	
5年後の目標		誰もが人生を通じて学びへの意欲を向上させ、また、仲間とともに学びを楽しんで、自己実現につながっている。	

概要								
P (概要)	実施計画名称(予算事業名称)		予算科目			決算額(円)	担当課	
	各種団体・サークル等活動 支援事業		会計	款	項	目	153,780	中央公民館
			一般	10	4	2		
事業の概要								
公民館で活動しているサークルの活動紹介等を通じて、公民館に来館し、活動する市民を増やします。館内の発表会・パネル展示・広報紙に加え、中・高・大学生、壮年等の世代別の広報も展開し、新たな市民利用を呼び込みます。								


令和3年度の取組							
D (取組)	指標①	公民館(社会教育ホール)登録団体件数				単位	団体
	現 状 (計画策定時)	年度	3	4	5	6	7
	166(令和2年8月末 現在)	目標	170	175	180	185	190
		実績	182				
	指標②	公民館(社会教育ホール)登録団体による利用件数【児童室・焼成炉室除く】				単位	件
	現 状 (計画策定時)	年度	3	4	5	6	7
	2,869 (令和元年度)	目標	2,900	2,930	2,960	2,990	3,020
		実績	1,921				
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公民館サークル連絡協議会(略称:公サ連)の会員が中心となり、市民ギャラリーの作品展示やオープンハウスを利用したサークル加入のための啓発活動を実施しました。</li> <li>・備考: R3. 4. 26~5. 31、8. 20~9. 20貸館休止 R3. 6. 1~20、8. 17~19、9. 21~30 夜間貸館休止</li> </ul>					オープンハウス(茶道クラブ) 	

施策の「5年後の目標」に対する評価				
令和3年度の達成状況				
C (評価)	評価指標	関連する評価指標	評価指標の傾向・トレンド	対応頁
		—	—	—
	達成度合	B: 目標をほぼ達成できた(目標の80%~100%程度)	達成状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で活動ができず3年毎の更新時に更新されなかった団体が、少し活動されるようになって戻ってこられた影響で登録者数が増加しました。</li> <li>・コロナ禍により外出や集会を避ける方が多く、また、貸館休止期間もあり開館日数が減少したことや、各部屋での定員制限もあり、利用件数が伸びず、目標値に届きませんでした。</li> </ul>
課題等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍においても、サークル活動への参加は市民にとっても、生きがいや健康の源となっており、できる限り感染対策を講じて活動できる場を提供できるよう対応していくことが必要となっています。</li> <li>・各サークルを見ても、全体的に高齢化が進んでおり、若年層が少ないことが課題です。</li> </ul>			

次年度以降の対応	
A (行動)	方向性 1: 計画通りに進めることが適当 対応策等 <ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症については、感染状況を注視しながら、公民館としてガイドラインを遵守する中で、安心・安全に利用していただけるよう対応していきます。</li> <li>・会員との意見交換等を通して、見学や体験などの機会となるオープンハウスを引き続き実施しサークル会員確保につなげていきます。</li> </ul>

分野	33	生涯学習・文化・スポーツ	通番 63
施策	331	生涯学習環境の充実	
5年後の目標		誰もが人生を通じて学びへの意欲を向上させ、また、仲間とともに学びを楽しんで、自己実現につながっている。	

概要							
P (概要)	実施計画名称(予算事業名称)		予算科目		決算額(円)	担当課	
	公民館市民講座開設事業		会計	款	項	1,116,674	中央公民館
			一般	10	4		
事業の概要							
市民生活が生涯学習を通じて潤いあるものとなるように、様々な学習ニーズに対応した講座を実施します。また、実際生活に関する学習課題を市民自らが講師となり共に解決していく「市民企画講座」を実施します。							


令和3年度の取組							
D (取組)	指標	公民館主催講座の参加者数(児童室一般開放を除く)				単位	人
	現状 (計画策定時)	年度	3	4	5	6	7
		目標	6,130	6,190	6,250	6,310	6,370
	6,013(令和元年度)	実績	3,877				
<ul style="list-style-type: none"> <li>各世代のニーズに応じた講座として、少年教育(少年少女発明クラブ11回)、男女共同参画(男女共同参画講座1回、多文化共生子育て講座1回)、高齢者教育(熟年生き生き講座10回)、家庭教育(びよびよクラブ9回、子育てふれあいルーム60回、家庭教育学級2回)、福祉教育(聴覚言語障がい者学級1回)、また、公民館での子育て事業や各種講座への託児に従事していただける子育てボランティアを養成する講座7回、子育てボランティア同士の情報共有の場としてサポーターふれあいネット10回を実施しました。令和2年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響で5月は、全ての公民館講座を中止するほか、定員数を制限して感染症拡大防止対策を徹底しながら、講座の開催に努めました。</li> <li>29年度に施行、30年度から本格的に実施した市民企画講座は、総合計画から抽出したテーマに沿って、市民自らが講師となり40企画、125講座を実施いたしました。個別のチラシはもとより、3ヶ月単位で取りまとめたチラシも作成し、実施時期や内容が一目でわかるよう工夫しました。</li> </ul>					市民企画講座		
							

施策の「5年後の目標」に対する評価				
令和3年度の達成状況				
C (評価)	評価指標	関連する評価指標	評価指標の傾向・トレンド	対応頁
		—	—	—
達成度合	C:目標の一部を達成できなかった	達成状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルス感染症の影響により、熟年生き生き講座の参加者が指標策定時の平成元年度と比較すると42.4%と半分以下になったことや、子育て世帯も外出を控えられる方が多く、参加者は目標を下回る63.2%の結果となりました。</li> <li>令和2年度実績についても4,032人となっており、コロナ禍による影響を大きく受けています。一方、講座実施回数は、令和2年度の223回から令和3年度では237回と微増しており、コロナ禍においても、学習機会を確保することができました。</li> </ul>	
課題等			<ul style="list-style-type: none"> <li>毎年、人気があり同じ方が企画されるものや講座回数が多いものもあるため、今後、講座数が増え続けると、公民館のサークル団体が使える貸し部屋日数が、講座で利用し減ってしまい活動に影響を及ぼすため、全体の講座上限数を決めていく必要があります。</li> </ul>	

次年度以降の対応	
A (行動)	方向性
1:計画通りに進めることが適当	対応策等 <ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き、アンケート結果や公民館運営審議会の意見をもとに、市民のニーズ把握に努め、講座時期や内容を精査し、全体の講座上限数などを検討し市民の実生活に即した講座を企画していきます。</li> </ul>

分野	33	生涯学習・文化・スポーツ	通番 64
施策	331	生涯学習環境の充実	
5年後の目標		誰もが人生を通じて学びへの意欲を向上させ、また、仲間とともに学びを楽しんで、自己実現につながっている。	

概要							
P (概要)	実施計画名称(予算事業名称)		予算科目		決算額(円)	担当課	
	中央生涯学習センター事業		会計	款	項	80,091,520	生涯学習課
			一般	10	1		
事業の概要							
人生100年時代を迎え、生涯学習社会への重要性が高まっています。市民の主体的な学びの場として、また、学習機会や情報を提供する場として、中央生涯学習センターを管理運営します。							


令和3年度の取組							
D (取組)	指標	中央生涯学習センター貸室利用率				単位	%
	現状 (計画策定時)	年度	3	4	5	6	7
		目標	30.0	50.0	50.0	50.0	50.0
	48.7(令和元年度)	実績	30.1				
<ul style="list-style-type: none"> <li>中央生涯学習センターの管理運営は、指定管理者である大阪ガスビジネスクリエイト株式会社に委任しています。</li> <li>今年度も十分な感染対策を呼びかけたうえで、貸室事業を行いました。</li> <li>指定管理者の自主事業として、時期や内容を考慮し、感染対策を充分に行ったうえで、バンビオ展示ウィーク、バンビオファミリー人形劇、落語会、各種講座などを行いました。</li> <li>生涯学習機関紙「be→!」や「バンビオここから通信」にてイベントの告知や施設利用サークルの紹介などの情報発信を行いました。</li> </ul>					自主事業(講座)の様子 		

施策の「5年後の目標」に対する評価					
令和3年度の達成状況					
C (評価)	評価指標	関連する評価指標	評価指標の傾向・トレンド	対応頁	
	達成度合	A: 目標を達成又は上回って達成できた(目標の100%以上)	達成状況	コロナ禍前と比較すると年間の利用者数は少ないものの、比較的感染状況が落ち着いている月の利用者数は、コロナ禍前の水準に戻りつつあります。	185
				<ul style="list-style-type: none"> <li>貸室利用率は、新型コロナウイルス感染症対策のための休館や利用制限、イベントの自粛要請等により、コロナ禍前と比較すると少ないものの、設定した目標を達成することができました。</li> <li>感染拡大期の利用者は少ないですが、比較的感染状況が落ち着いている時期には、利用者が戻りつつあります。</li> <li>指定管理者の自主事業として講座やイベントを積極的に行い、事業への参加を通じ、多くの方に新たな学びの機会を得ていただくことができました。</li> </ul>	
課題等	<ul style="list-style-type: none"> <li>コロナ禍で生涯学習活動の中止や縮小が続いていたため、再開を支援する必要があります。</li> <li>新たな生活様式に基づく貸館運営のあり方について、リモート講座や研修など、利用者のニーズを捉えながら、指定管理者と協議し進めていく必要があります。</li> </ul>				

次年度以降の対応		
A (行動)	方向性	対応策等
	1: 計画通りに進めることが適当	<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き講座やイベントなどを実施し生涯学習、施設利用のきっかけづくりを行います。</li> <li>リモート講座や研修などの利用者のニーズに応える取組みについて、指定管理者とともに進めていきます。</li> </ul>

分野	33	生涯学習・文化・スポーツ	通番 65
施策	331	生涯学習環境の充実	
5年後の目標		誰もが人生を通じて学びへの意欲を向上させ、また、仲間とともに学びを楽しんで、自己実現につながっている。	

概要							
P (概要)	実施計画名称(予算事業名称)		予算科目		決算額(円)	担当課	
	図書館サービスの推進・充実事業		会計	款	項	12,916,156	図書館
			一般	10	4		
事業の概要							
読書啓発活動を推進するとともに、今まで図書館を利用していない人にも魅力を感じてもらえるアプローチの手法を検討・実施します。							


令和3年度の取組								
D (取組)	指標	1冊あたりの年間稼働率(回転数)				単位	回	
	現 状 (計画策定時)	年度	3	4	5	6	7	
	1.58(令和元年度)	目標		1.70	1.70	1.70	1.70	1.70
		実績		1.72				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・絵本について、これまで出版社の五十音順に本を配架していましたが、子どもの自主性を育てる本棚作りという観点から、自分で本を探しやすい「書名の五十音順」へと絵本の並び替えを行いました。</li> <li>・課題である、図書館利用が少ない世代(中学生から働く世代)向けに、司書による文学講座や、書評を通じたコミュニケーションゲーム「ビブリオバトル」、中高生による交流・発表の場「知恵の実」等の事業展開を行いました。</li> <li>・子どもの人権に視点を置いた児童文学作家のあまんきみこさんの読書講演会を行いました。本市在住の児童文学作家である氏の著書をよりPRするため、常設の「あまんきみこさんの本棚」を設置しました。</li> <li>・読書啓発活動を行っている市民有志の方々がテーマ毎に選んだ本を収めた小さな本棚「ひとはこライブラリー」や市の施策と関連した本を集めたコーナーの設置など、多様な視点による魅力的な展示コーナーの設置を行いました。</li> <li>・図書館利用困難者に図書宅配・回収を行う「アウトリーチサービス」を継続して行いました。</li> </ul>						あまんきみこさんの本棚		
								

施策の「5年後の目標」に対する評価				
令和3年度の達成状況				
C (評価)	評価指標	関連する評価指標	評価指標の傾向・トレンド	対応頁
		—	—	—
達成度合	A: 目標を達成又は上回って達成できた(目標の100%以上)	達成状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年度に引き続き、利用者の学習意欲を満たすと思われる分野を研究し、情報の新鮮さ・信用性を精査した上で図書資料の収集・除籍を進めました。</li> <li>・郵送による貸出券の発行申請やスマートフォン・タブレット等の画面での貸出券のバーコードの表示ができるようにし、利用者の利便性の向上に繋がりました。</li> <li>・図書館利用困難者へのアウトリーチサービスについて2名の新規登録があり、登録者は総計5名となりました。</li> </ul>	
	課題等		・アウトリーチサービスの利用者が増加した場合の宅配業務に係る人員の確保、電話・ファックス・来館以外のやり取りによる貸出申込等のサービス申込者の身体状況に応じた対応ができる仕組み作りが必要です。	

次年度以降の対応	
A (行動)	対応策等
1: 計画通りに進めることが適当	・アウトリーチサービス利用者が増加した場合の配送体制作りに向けて、シルバー人材センターの活用等を検討します。

分野	33	生涯学習・文化・スポーツ	通番 66
施策	332	文化・芸術の振興	
<b>5年後の目標</b>		ふるさとの文化・歴史や良質な芸術に親しむ機会が増えて、市民の多彩な活動がまちの魅力をつくっている。	

概要							
P (概要)	実施計画名称(予算事業名称)		予算科目		決算額(円)	担当課	
	<b>長岡京芸術劇場推進事業</b>		会計	款	項	77,085,644	文化・スポーツ 振興課
			一般	10	4		
事業の概要							
「長岡京芸術劇場」公演をはじめとした文化・芸術事業を推進します。また、子どもたちが文化・芸術に興味関心を持ち、活躍するまちづくりに取り組みます。 また、長岡京記念文化会館を拠点とした質の高い舞台芸術の提供と充実を図るとともに、記念文化会館の安定的な運営を目指し京都府に対して会館の活用や維持・改修を求めています。							

令和3年度の取組							
D (取組)	指標	長岡京芸術劇場の事業数				単位	事業
	現 状 (計画策定時)	年度	3	4	5	6	7
	21(令和元年度)	目標	15	24	25	26	27
		実績	12				
<ul style="list-style-type: none"> <li>長岡京芸術劇場事業として、市主催事業（1事業）、長岡京芸術劇場実行委員会主催事業（5事業）、文化奨励事業補助金助成事業（7事業）、芸術劇場ロゴマーク使用申請イベント（6事業）を企画、準備しましたが、新型コロナウイルスの影響により一部中止を余儀なくされ、12事業の実施となりました。</li> <li>長岡京芸術劇場実行委員会主催事業出演団体2団体による、市内小学校や高校への出張コンサートや演奏指導などの交流に支援を行いました。</li> <li>長岡京記念文化事業団に対し支援を行い、記念文化会館で音楽、映画等の16事業を実施しました。また、記念文化会館が老朽化（設備の故障、建物の雨漏り等）しているため、京都府にホールの修繕計画の策定及び財政的支援を要望しました。</li> </ul>						京都市立芸術大学による出張コンサート	
							


施策の「5年後の目標」に対する評価				
令和3年度の達成状況				
C (評価)	評価指標	関連する評価指標	評価指標の傾向・トレンド	対応頁
			—	—
C (評価)	達成度合	B:目標をほぼ達成できた(目標の80%~100%程度)	<ul style="list-style-type: none"> <li>度重なる緊急事態宣言等により、イベントの縮小、中止を余儀なくされましたが、新型コロナウイルス感染対策等について参加団体と調整及び協力を十分に行い、安全に12事業を実施することができました。</li> <li>新型コロナウイルスの感染対策を行いながら事業を実施したことにより、記念文化会館使用率は前年度の23.3%から40.9%に回復し、入場者数も客席数の利用を約半数として使用する方法が定着したこともあり、前年度の約3倍の35,883人まで回復しました。</li> </ul>	
	課題等		・コロナ禍の影響で、文化芸術イベントが実施できないことで、当事者のモチベーションが下がってきており、地域の文化芸術活動の停滞が進んでいます。	

次年度以降の対応		
A (行動)	方向性	対応策等
	1：計画通りに進めることが適当	・WITHコロナにおいて、地域の文化芸術活動の再開、復活のためにも、文化芸術団体と調整・協議を行い、連携協力しながら、感染対策を両立して、事業が実施できるよう検討・工夫及び支援を行っていきます。



分野	33	生涯学習・文化・スポーツ	通番 67
施策	332	文化・芸術の振興	
5年後の目標		ふるさとの文化・歴史や良質な芸術に親しむ機会が増えて、市民の多彩な活動がまちの魅力をつつている。	

概要							
P (概要)	実施計画名称(予算事業名称)		予算科目		決算額(円)	担当課	
	文化活動推進・支援事業		会計	款	項	1,335,572	文化・スポーツ 振興課
			一般	10	4		
事業の概要							
誰もが文化・芸術活動にふれ、参加してもらう機会を確保するため、文化団体の文化・芸術活動を推進し、活動支援を行います。							


令和3年度の取組							
D (取組)	指標	文化活動団体事業における参加者数(出品者、出演者、鑑賞者)				単位	人
	現状 (計画策定時)	年度	3	4	5	6	7
		目標	6,000	10,800	10,900	11,000	11,100
	7,092(令和元年度)	実績	3,876				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・長岡京市文化協会が主催する事業に補助金を交付し、新型コロナウイルス感染症対策のため、規模は縮小されましたが「市民文化まつり」「長岡京展」が実施されました。また「日本舞踊」をテーマとした「文化講座」や「各種市民文化教室」の開催を支援し、初心者を対象にした文化芸術活動へのきっかけづくりが行われました。</li> <li>・「長岡京市文化奨励事業補助金」制度について、前年度、コロナ禍対策として創設した「新しい生活様式に対応した長岡京市文化奨励事業補助金」の内容を組み込み、WITHコロナに対応した、新しい「長岡京市文化奨励事業補助金」制度を創設し、文化芸術に触れる機会を提供する実施団体の自主的な文化・芸術活動に対し支援を行いました。</li> </ul>					第59回市民文化まつり(芸能発表) 		

施策の「5年後の目標」に対する評価						
令和3年度の達成状況						
C (評価)	評価指標	関連する評価指標		評価指標の傾向・トレンド	対応頁	
	達成度合	C:目標の一部を達成できなかった	達成状況	新型コロナウイルス感染症の影響を受け、事業の実施が難しい状況です。		186
				<ul style="list-style-type: none"> <li>・「名月の宴」は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止を余儀なくされましたが「市民文化まつり」は規模を縮小し、芸能発表のみ開催することができました。ただ、展示発表は会場がワクチン接種会場になったことで中止となり、参加者数は減少しました。</li> <li>・「長岡京展」は向日市や大山崎町を対象地域を拡大したことや、第30回目の開催を記念し特別賞を設けたこともあり、参加者数は微増し、来場者数もコロナ禍前の平成30年度を超える約2,400名となりました。</li> </ul>		
課題等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍の影響で、人流制限や施設(会場)の利用制限等もあり、事業や活動が思うように実施できず、地域の文化芸術活動の停滞が進んでいます。</li> </ul>					

次年度以降の対応	
A (行動)	方向性
	1:計画通りに進めることが適当 <ul style="list-style-type: none"> <li>・WITHコロナの中、感染対策を両立しながら、地域の文化芸術活動の再開、復活を目指して、文化芸術関連団体と連携協力を行うとともに、実施団体の支援や事業PR等に取り組んでいきます。</li> </ul>

分野	33	生涯学習・文化・スポーツ	通番 68
施策	332	文化・芸術の振興	
<b>5年後の目標</b>		ふるさとの文化・歴史や良質な芸術に親しむ機会が増えて、市民の多彩な活動がまちの魅力をつくっている。	

概要							
P (概要)	実施計画名称(予算事業名称)		予算科目		決算額(円)	担当課	
	<b>総合的な文化財保存活用の推進</b>		会計	款	項	6,891,003	文化財 保存活用課
			一般	10	4		
事業の概要							
文化財保存活用地域計画の策定と新庁舎での歴史資料の展示公開を進めます。計画の策定と合わせて、恵解山古墳をはじめとする「乙訓古墳群」の保存・整備、未調査の歴史資料の収集・調査・保存に取り組みます。							


令和3年度の取組							
D (取組)	指標	文化財保存活用地域計画の策定、新庁舎での歴史資料の展示公開				単位	—
	現 状 (計画策定時)	年度	3	4	5	6	7
	—	目標	文化財保存活用地域計画の素案作成	文化財保存活用地域計画の作成	新庁舎歴史資料展示内容検討	新庁舎歴史資料展示設計	新庁舎歴史資料展示施工
		実績	長岡京市文化財保存活用地域計画の素案作成				
<ul style="list-style-type: none"> <li>事前把握調査で得られた成果をふまえ、京都府立大学生と長岡京市ふるさとガイドの会との協働によるフィールドワークを実施し、市外からみた本市の歴史文化の特徴の把握を行いました。また、フィールドワークの報告に基づき、市内で活動する観光団体や市民を交えてワークショップを開催しました。</li> <li>長岡京市文化財保存活用推進会議を設置し、長岡京市文化財保存活用地域計画(素案)について検討を行いました。あわせて、長岡京市文化財保護審議会に諮り、意見を聴取しました。</li> </ul>					<b>ワークショップ開催風景</b> 		

施策の「5年後の目標」に対する評価					
令和3年度の達成状況					
C (評価)	評価指標	関連する評価指標	評価指標の傾向・トレンド	対応頁	
	達成度合	A: 目標を達成又は上回って達成できた(目標の100%以上)	達成状況	・文化財関係者だけでなく、市民や観光団体、地元企業などの参画を得て、長岡京市の歴史文化の特徴や長岡京らしさについての整理ができ、それに基づき長岡京市文化財保存活用地域計画の素案を作成しました。	—
	課題等	・市民が歴史や文化財に親しむ機会を増やすための歴史資料展示室が未整備です。 ・文化財の調査・研究と保存・活用を確実に実施するため、多様な主体が参画した体制整備や財源確保が必要です。			

次年度以降の対応		
A (行動)	方向性	対応策等
	1: 計画通りに進めることが適当	・これまで進めてきた文化財の調査・研究事業を継続して進めるとともに、文化財の総合的な計画である長岡京市文化財保存活用地域計画を作成し、新庁舎での歴史資料の展示公開や恵解山古墳をはじめとする「乙訓古墳群」の保存・整備、未調査の歴史資料の収集・調査・保存などの具体的な取組を進めていきます。

分野	33	生涯学習・文化・スポーツ	通番 69
施策	333	スポーツの振興	
5年後の目標		心身の健康を保つため、運動・スポーツに親しみ、これを通じた交流を楽しんでいる。	

概要							
P (概要)	実施計画名称(予算事業名称)		予算科目		決算額(円)	担当課	
	総合型地域スポーツクラブ 推進事業		会計	款	項	740,541	文化・スポーツ 振興課
			一般	10	5		
事業の概要							
全小学校区で総合型地域スポーツクラブの設立を図ります。							


令和3年度の取組								
D (取組)	指標	総合型地域スポーツクラブの設立数					単位	小学校区
	現状 (計画策定時)	年度	3	4	5	6	7	
	8(令和元年度)	目標	8	8	9	9	10	
		実績	8					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍においてもスポーツに親しむ行事等の実施を各校区に委託することにより、地域スポーツの振興を図りました。</li> <li>・スポーツ行事等の実施にあたり、関係団体と調整を行い、本市のガイドラインに準じた感染対策ガイドラインを作成するなど、コロナ禍においてもイベントが開催できる体制づくりを行いました。</li> <li>・総合型地域スポーツクラブ未設立地区に対しては、長岡京市総合型地域スポーツクラブ協議会や関係機関等と連携し、設立に向けての働きかけを継続しています。</li> </ul>						市民スポーツフェスティバル(九小)		
								

施策の「5年後の目標」に対する評価					
令和3年度の達成状況					
C (評価)	評価指標	関連する評価指標	評価指標の傾向・トレンド	対応頁	
		市民スポーツ実施率		年代別で見ると、20歳代～40歳代の運動実施率が低く、若年層や働き盛り世代に対する運動・スポーツの機会や場の提供が求められます。	186
	達成度合	A:目標を達成又は上回って達成できた(目標の100%以上)	達成状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在8つの校区で設立された総合型地域スポーツクラブを中心に、校区住民のスポーツ実施の機会拡大につながっています。</li> <li>・昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染症拡大により事業開催ができなかった校区も一部ありましたが、感染対策ガイドラインの作成などにより、イベントが実施できた校区もありました。</li> </ul>	
課題等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍の影響により、総合型地域スポーツクラブの事業が実施されず、地域スポーツの振興につなげることが困難な社会となっており、地域の絆や地域コミュニティの醸成が停滞しています。</li> <li>・未設立校区では総合型設立に向けた、組織の設立や実施意欲を高めるための活動が必要です。</li> </ul>				

次年度以降の対応	
方向性	対応策等
A (行動)	1:計画通りに進めることが適当 <ul style="list-style-type: none"> <li>・WITHコロナにおいて、地域スポーツが、地域の絆や地域コミュニティの醸成、復活につながるよう、関係団体と調整・協議を行い、連携協力しながら、感染対策を両立して、事業が実施できるよう検討・工夫を行っていきます。</li> <li>・未設立校区では総合型地域スポーツクラブ設立に向けて、引き続き、長岡京市スポーツ協会と連携協力しながら「核となる人や団体」の発掘育成を行い、総合型地域スポーツクラブの意義について啓発や、その必要性について理解を求めていきます。</li> <li>・既設立校区の総合型地域スポーツクラブに対しては、地域スポーツ振興の拠点となるクラブハウスの整備に向けて調整を行っていきます。</li> <li>・国が進めている「総合型地域スポーツクラブ登録・認証制度」について慎重に検討していく必要があります。</li> </ul>

分野	33	生涯学習・文化・スポーツ	通番 70
施策	333	スポーツの振興	
5年後の目標		心身の健康を保つため、運動・スポーツに親しみ、これを通じた交流を楽しんでいる。	

概要							
P (概要)	実施計画名称(予算事業名称)		予算科目		決算額(円)	担当課	
	スポーツ交流推進事業		会計	款	項	11,667,353	文化・スポーツ 振興課
			一般	10	5		
事業の概要							
<p>若葉カップ全国小学生バドミントン大会を通じ、競技力向上の機会と広域的な交流を深める機会を創出します。また、市民が身近な校区で運動・スポーツに親しめるよう、小中学校の体育施設を開放し、運動・スポーツのできる環境の確保に努めます。</p> <p>さらに、スポーツ少年団の育成やスポーツ団体連合会の活動の支援を図ることで市民のスポーツ実施率を高めます。</p>							

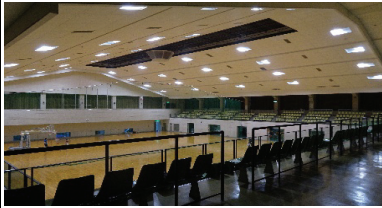
令和3年度の実績							
D (取組)	指標	学校開放・夜間照明利用件数				単位	件
	現状 (計画策定時)	年度	3	4	5	6	7
	9,212(令和元年度)	目標	9,800	9,400	9,400	9,400	9,800
		実績	5,038				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・若葉カップの開催を支援するため、実行委員会へ補助金を交付しました。</li> <li>・新型コロナウイルス感染症の収束が見えない中、関係者の安心安全を最優先とした感染予防対策を講じながら、多くの運営スタッフ、スポーツボランティアの協力のもと2年ぶりに「第37回若葉カップ全国小学生バドミントン大会」を開催しました。</li> <li>・小中学校施設を開放し、学校開放事業及び夜間照明施設事業を行い、市民がスポーツを行う環境を提供しました。</li> <li>・新型コロナウイルス感染症の影響により、2年連続で「長岡京市民大運動会」は中止を余儀なくされました。</li> <li>・コロナ禍において安全に市民が運動・スポーツに親しむ機会を提供するため、ガイドラインを作成し、感染症対策を徹底した上で、「市民スポーツフェスティバル」を開催しました。</li> </ul>					若葉カップ大会での開始式の様子 		

施策の「5年後の目標」に対する評価				
令和3年度の達成状況				
C (評価)	評価指標	関連する評価指標	評価指標の傾向・トレンド	対応頁
		市民スポーツ実施率	年代別で見ると、20歳代～40歳代の運動実施率が低く、若年層や働き盛り世代に対する運動・スポーツの機会や場の提供が求められます。	
C (評価)	達成度合	C:目標の一部を達成できなかった	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「第37回若葉カップ全国小学生バドミントン大会」では、無観客など平常とは異なる大会での開催となったため、デジタルプロモーション事業として、PR動画の作成、フォトライブラリー、試合のライブ配信等により、選手への思い出づくりやモチベーションの向上、本大会の魅力を世界に向け発信するなど初めてとなる取り組みを実施しました。</li> <li>・新型コロナウイルス感染症の影響により、学校体育施設利用を4月末～6月、8月～9月、1月末～3月を期間休止としたため、学校開放利用件数は例年を大幅に下回る結果となりました。</li> <li>・「市民スポーツフェスティバル」として、各校区で「総合型スポーツフェスティバル」を開催しコロナ禍でもスポーツができる場を提供しました。</li> </ul>	
	課題等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツイベントについて、感染対策を両立しながら、どのように開催・復活していくかが課題となっています。</li> <li>・「若葉カップ全国小学生バドミントン大会」は、長年、全国のクラブチームが参加される大会として、本市で開催されていますが、より一層、市民や全国に認知されるように取り組む必要があります。</li> <li>・新型コロナウイルス感染症の影響により、「市民大運動会」が2年連続で中止になるなど、市民が参画される事業が少なくなり、地域の絆、地域コミュニティの醸成が停滞しています。</li> <li>・学校開放の利用者や「市民スポーツフェスティバル」の参加者が固定化しており、新たな利用者・参加者の増加が進んでいません。</li> </ul>		

次年度以降の対応	
A (行動)	対応策等
方向性	
1:計画通りに進めることが適当	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の絆、地域コミュニティの醸成、復興につなげるため、「新しい生活様式」をスポーツに取り入れ、実施可能な市民スポーツの推進を図ります。</li> <li>・イベントの実施、スポーツ施設、学校開放事業等において、感染対策を両立し、利用者や参加者が安心してスポーツ活動が行えるよう国や府の方針に従いながらガイドラインを改訂していきます。</li> <li>・学校開放の利用者や「市民スポーツフェスティバル」の参加者の固定化改善のために、住民ニーズにあわせたプログラムを考案するなど、少しでも多くの市民がスポーツに触れることができる環境が作れるよう検討します。</li> </ul>

分野	33	生涯学習・文化・スポーツ	通番 71
施策	333	スポーツの振興	
<b>5年後の目標</b>		心身の健康を保つため、運動・スポーツに親しみ、これを通じた交流を楽しんでいる。	

概要							
P (概要)	実施計画名称(予算事業名称)		予算科目		決算額(円)	担当課	
	スポーツ施設環境の整備		会計	款	項	46,556,480	文化・スポーツ 振興課
			一般	8	4		
			10	5	2	16,857,000	
事業の概要							
スポーツ活動の拠点である西山公園体育館やスポーツセンターの適正な維持管理に努めながら、多くの市民がライフステージに応じたスポーツを楽しむことができるよう、市民スポーツ活動の充実を図ります。							

令和3年度の取組							
D (取組)	指標	体育館等施設利用者数(西山公園体育館・スポーツセンター)				単位	人
	現 状 (計画策定時)	年度	3	4	5	6	7
	268,232 (令和元年度)	目標	240,000	272,500	275,000	277,500	280,000
		実績	153,657				
<ul style="list-style-type: none"> <li>施設の老朽化が進むなか、設備・備品の修繕や更新を適宜実施し、施設の維持管理に努めました。</li> <li>新型コロナウイルス感染症対策ガイドラインの見直しを適宜行い、利用者が安全・安心に施設を利用できるよう努めました。</li> </ul>					西山公園体育館		
							

施策の「5年後の目標」に対する評価				
令和3年度の達成状況				
C (評価)	評価指標	関連する評価指標	評価指標の傾向・トレンド	対応頁
			—	—
C (評価)	達成度合	C:目標の一部を達成できなかった	<ul style="list-style-type: none"> <li>コロナ禍により、緊急事態宣言により施設利用が休止(4~5月、8~9月)や時短営業となった期間があったため、利用者数が目標値を大きく下回っています。</li> <li>西山公園体育館は、トランポリンの購入、高圧受変電設備の改修工事を行いました。その他、館内の消防設備等の修繕を行いました。</li> <li>スポーツセンターは、高圧受変電設備、電話設備の修繕を実施しました。</li> <li>西山公園体育館、スポーツセンターの管理運営等について、指定管理者のスポーツ協会等と協議検討を行いました。</li> </ul>	
	課題等		<ul style="list-style-type: none"> <li>西山公園体育館及びスポーツセンターについては、老朽化する施設設備において、安全を最優先に、緊急度に応じた設備の計画的な更新を行う必要があります。</li> <li>スポーツセンターについては、今後の再整備のあり方を整理していく時期に来ています。</li> </ul>	

次年度以降の対応	
A (行動)	対応策等
1:計画通りに進めることが適当	<ul style="list-style-type: none"> <li>西山公園体育館は、個別施設計画に基づく対応として最優先項目である館内のLED化をはじめ、緊急度に応じた設備の計画的な更新を行っていきます。</li> <li>スポーツセンターは、当面必要となる施設の安全性の確保、機能維持に向けた対応を行いながら、公共施設における再編整備構想検討部会や市スポーツ推進審議会等を通じ、今後の施設のあり方等の整理を行っていきます。</li> </ul>